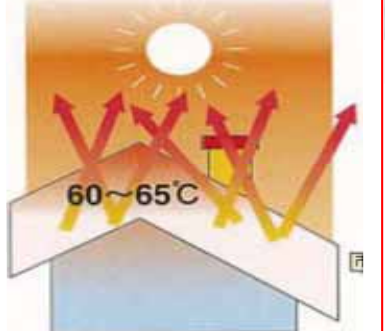


矢吹小改修計画を絵で見る



校舎棟の内壁に 20 mmの厚さの断熱材ウレタンフォームを使用し、内断熱の向上を図る。



体育館の屋上に熱反射塗料を塗り、体育館内の温度の上昇を避ける。

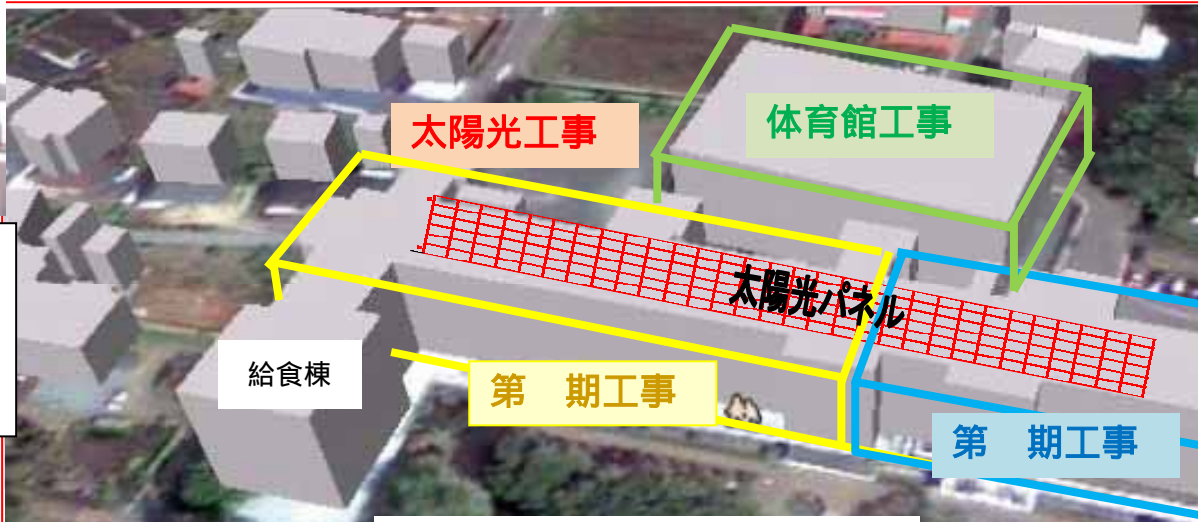
二重ガラスを採用し、熱負荷を抑える。



洋式節水型ウォシュレットトイレを採用し、水道料を軽減する。



照明は LED 照明を採用し、また廊下は人感センサーで点灯・消灯するため、消し忘れの防止を図る。



校舎棟の屋上に太陽光発電パネルを 390 枚 70kw/H を設置。蓄電池 20 k w/H と併せ、90 k w/H の電力を創り出す



教室・廊下は、木の暖かみを感じるフローリング床材を採用。

廊下と廊下の上に扉を設置。夏は開放、冬は閉鎖し、室内の温度を維持する。

